中国ブロック地域交流会

まちづくりの事例に学ぶ「面」的な活性化セミナー

エールエールA館6階ROOM4
広島県広島市南区松原町9-1

アクセスはこちら（広島駅から徒歩4分）

参加無料
2025 2/19 wed
13:00-17:00
定員40名

中国経済産業局では「多様な視点と関係者の連携によるエリア価値の向上」をテーマにした交流会を開催します。本交流会では、中小機構アドバイザーや中国地域で中心市街地・商店街の活性化に取り組んでいる方による講演を行い、『面』的な活性化に向けたヒントを提供します。また、グループディスカッションによる参加者間の交流を通して、顔の見える関係性の構築を目指します。まちづくりに取り組んでいる方、興味のある方のご参加をお待ちしています！

プログラム

13:00　開会　（受付開始12:30）
13:05　講演① アーケード撤去/改修とまちづくり
14:10　講演②
　　地域の個性や多様性を伸ばしエリア価値を高める取組
15:15　グループディスカッション
16:30　交流会・名刺交換会

申込はこちら
2月12日(水)締切

お問い合わせ
中国経済産業局
流通・サービス産業課
担当：松村、下地
082-224-5655
bzl-chugokusyo@meti.go.jp

主催 中国経済産業局　　共催 独立行政法人中小企業基盤整備機構

登壇者紹介

講演1　アーケード撤去/改修とまちづくり

東　朋治 氏

中小企業基盤整備機構アドバイザー　株式会社商業タウンマネジメント代表取締役

創業支援や空き店舗対策を中心に、全国各地で中心市街地・商店街向けの支援を行っている。2000年代には株式会社神戸ながたTMOの総括マネージャーとしてアーケードの新設に携わったほか、2010年代以降は専門家としてアーケードの撤去や撤去後のビジョン・プラン作りのサポートを行っている。近年、空き店舗の増加によりアーケードの維持管理が困難になり、老朽化が進んでいる地域が多く見られる。本講演では、アーケードのメリット・デメリットや撤去の影響、合意形成の手法等について事例を交え考察する。

森　紳二郎 氏

角盤町商店街振興組合 代表理事　株式会社米子髙島屋 代表取締役社長

2016年に米子高島屋代表取締役社長に就任。2018年より角盤町商店街振興組合の代表理事に就任し、百貨店の経営だけでなく周辺地域の活性化に取り組んでいる。「半径1kmにコンパクトシティを構築する」をスローガンに掲げ、地域全体で百貨店に集客することを目指している。近年は駐車場の整備や地ビールフェスタの開催など官民が一体となったまちづくりを進めているほか、2024年には、LED照明や太陽光発電機器を搭載したアーケードへのリニューアル工事を行い、さらなる地域の賑わい創出に取り組んでいる。

講演2　地域の個性や多様性を伸ばしエリア価値を高める取組 −わがまち商店街表彰の事例紹介を通して−

佐伯 健次郎 氏

一般社団法人やかげまるごと商店街振興会 代表理事

2004年に矢掛町商工会の会長に就任し、「矢掛の宿場まつり大名行列」の実行委員長を15年務める。2018年に「やかげまるごと商店街振興会」を結成し代表理事に就任。地域内外での各種イベントの企画運営を行っている。既存の宿場町の歴史と町並みを活かしつつ商店街全体で地域振興施設としての機能を担う「まるごと道の駅構想」のもと、行政と連携して道の駅「山陽道やかげ宿」を整備。施設内に店舗を置かず商店街に物販・飲食機能を持たせることで、商店街全体への誘客を図っている。また、散策マップの作成や新規出店希望者と空き店舗所有者のマッチングなどさらなる活性化に向けた取組も進めている。

梶原 康弘 氏

一般社団法人からまち 副代表理事

デイサービスやスポーツジムなど福祉施設の運営を行う一方で、唐戸エリアのまちづくりにも取り組む。2022年に複数の商店街等組織を統合するとともに、まちづくり組織「一般社団法人からまち」を設立し、副代表理事に就任。唐戸エリアの商店街の事務局機能を担うことでスムーズな意思疎通を実現させている。「観光客が訪れたくなるウォーカブルな街」を目指し、国の支援制度も活用しつつ、AIカメラによる来街者の行動分析や回遊性向上を目的としたコンテナショップの設置、観光アプリ開発・観光マップ作成、公共空間を利活用したパークレットの実施など、新たな魅力を創り出すための仕組みづくりを行っている。